

## 2023年度 学校評価

### I 2023年度 富士松中学校の教育

#### 1 本校の教育目標

＜ 校訓：「自主」「協力」「創造」 ＞

「富士中プライド」

～ 富士中生としてのプライドを大切に、たくましい心と体をもった富士中生～

[めざす富士松中生]

富士松中生としてのプライドをもち、行動できる生徒

- ・「あいさつ」「感謝の心」「奉仕の心」を大切にして生活できる
- ・当たり前のことが当たり前に見える
- ・自己肯定感と自己有用感を実感できる

#### 2 経営方針・重点努力目標

- (1) 確かな学力を身に付ける  
「分かる喜び、できる楽しさ」「基礎・基本の定着」「聴くことを大切にされたきめ細やかな指導」
- (2) 豊かな心を育む  
「当たり前のことが当たり前に見える」「何事にも自ら考え自ら行動する」  
「自己肯定感や自己有用感をもつ」
- (3) 命の尊重と体力向上を図る  
「全教育活動を通じた命の指導」「保健・食の指導と自己健康管理の意識高揚」  
「いじめ・不登校生徒に対する的確な対応」「体育の授業、活発な部活動を通じた体力向上」

### II 学校評価のねらいと方法

#### 1 学校評価のねらい

教育活動、その他の学校運営について設定した目標に対し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。

自己評価及び学校関係者による評価の実施とその結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

#### 2 評価の方法

＜自己評価＞

- ・生徒：教育目標に基づいたアンケート（全生徒対象）
- ・保護者：教育目標に基づいたアンケート（全保護者対象）
- ・教職員：教育目標に基づいたアンケート、行事ごとの反省、学期ごとの反省（全職員対象）

＜学校関係者評価＞

- ・学校運営協議会委員：学校評価アンケート結果を資料として、学校運営協議会で現状報告と意見交換  
学校経営に関するアンケート

＜第三者評価＞

- ・学校に直接関係のない専門家：特別には実施せず

※判定について

各項目について、「思う・少し思う・あまり思わない・思わない・分からない」で回答する。

「思う・少し思う」と回答した割合に対して、次のように判定する。

A判定（100～80％）、B判定（79～70％）、C判定（69～60％）、D判定（59％以下）

#### 3 評価アンケート(全校生徒数594人)

生徒アンケート：全生徒対象（500人、回答率84.2％）

保護者アンケート：全保護者対象（384人、回答率64.6％）

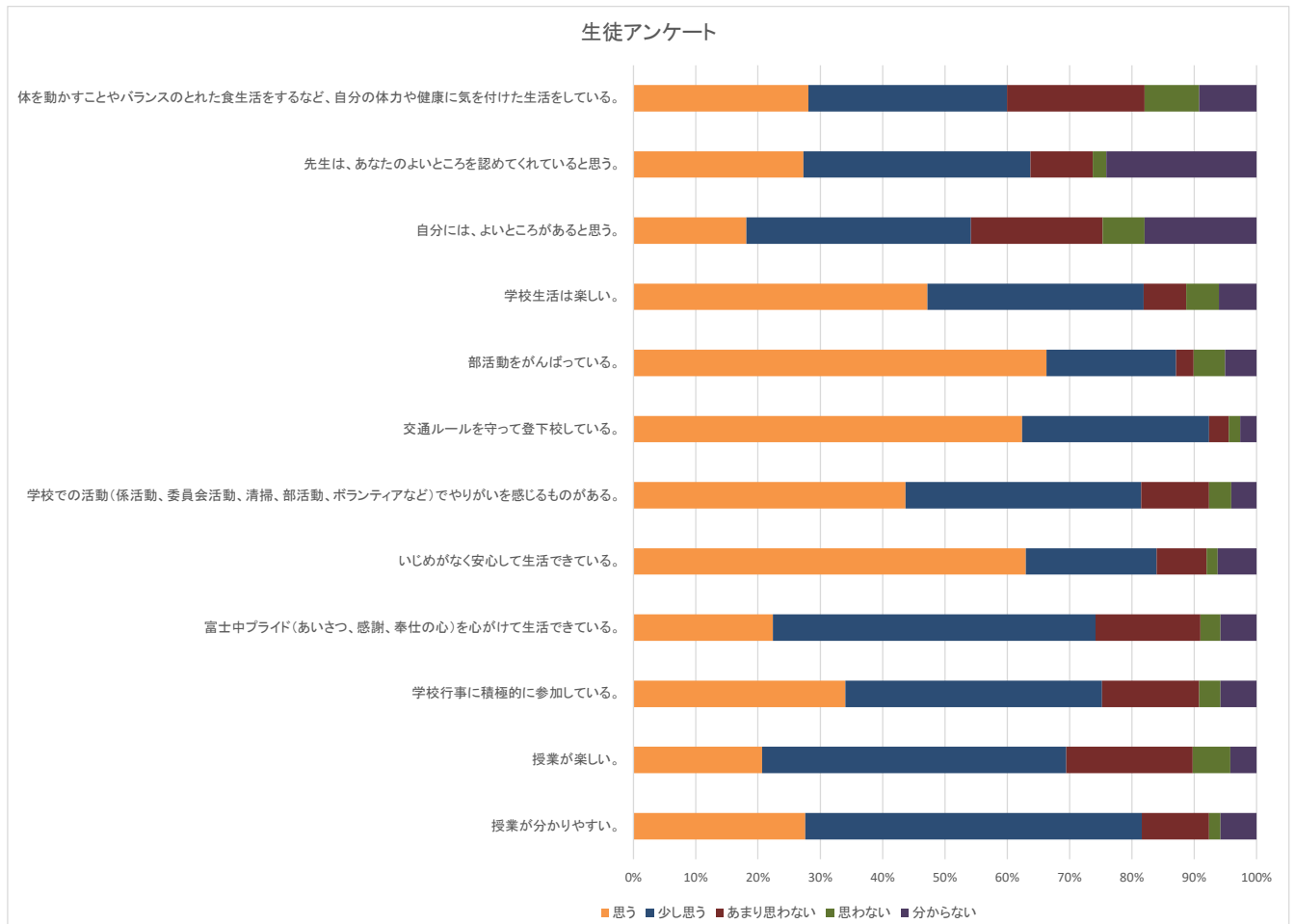
教職員アンケート：全教職員対象（28人、回答率90.5％）※療養、長期研修等を除く

- ・昨年度より、アンケートを紙面での回答から、フォームズを使用してWEB回答形式に変更して行っている。
- ・生徒は学校でタブレット端末を用いて実施、保護者は各家庭で手持ちの端末で実施した。

### Ⅲ アンケート結果

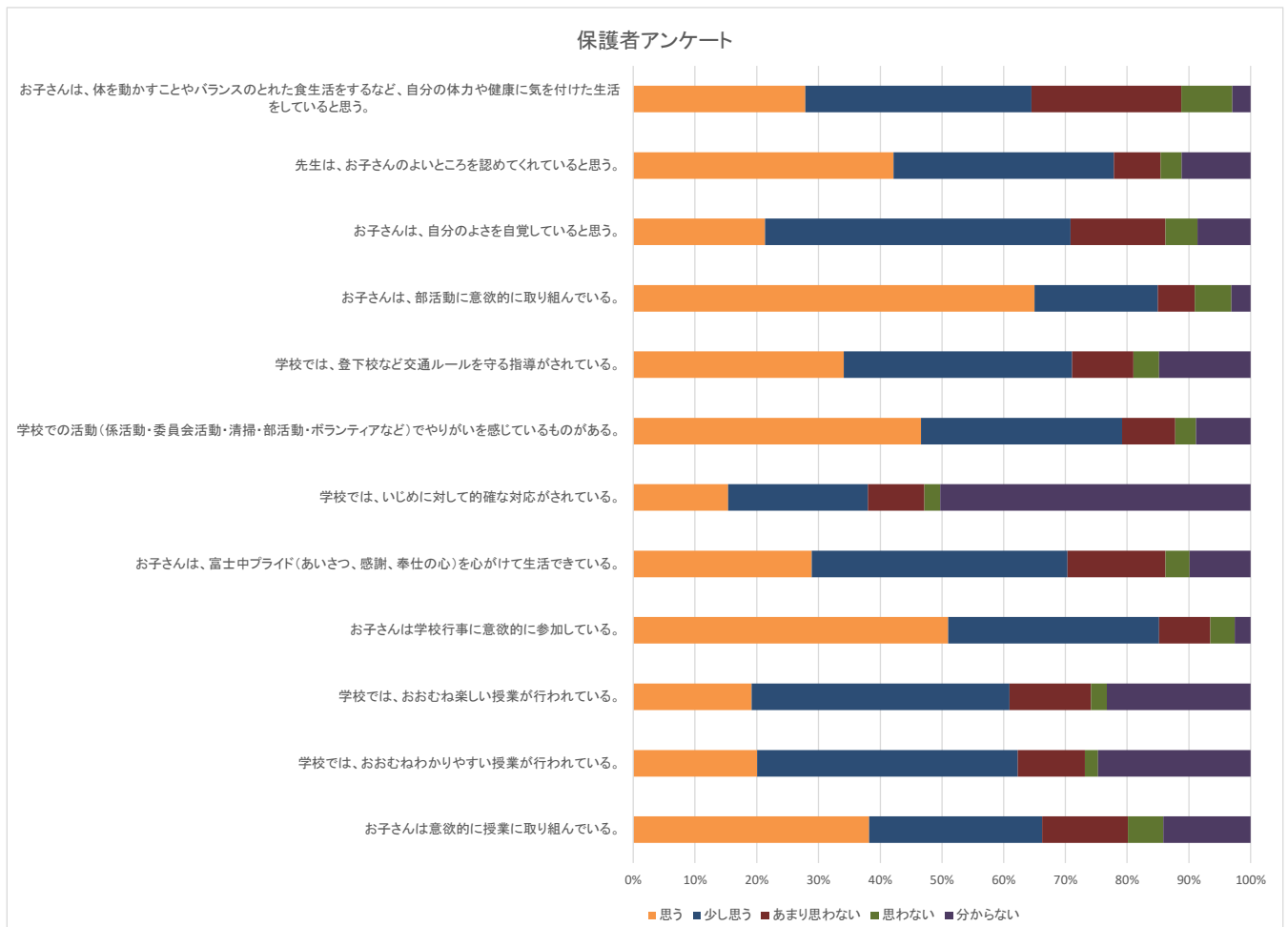
#### 1 生徒アンケート

2023年度 重点努力目標	アンケート項目	思う	少し 思う	あまり 思わない	思わない	分らない	思う+ 少し思う	判定
(1) 確かな学力を 身に付ける	授業が分かりやすい。	28%	54%	11%	2%	6%	82%	A
	授業が楽しい。	21%	49%	20%	6%	4%	69%	C
(2) 豊かな心を育む	学校行事に積極的に参加している。	34%	41%	16%	3%	6%	75%	B
	富士中プライド(あいさつ、感謝、奉仕の心)を心がけて生活できている。	22%	52%	17%	3%	6%	74%	B
	いじめがなく安心して生活できている。	63%	21%	8%	2%	6%	84%	A
	学校での活動(係活動、委員会活動、清掃、部活動、ボランティアなど)でやりがいを感じるものがある。	43%	38%	11%	4%	4%	81%	A
(3) 命を尊重する 体力向上を図る	交通ルールを守って登下校している。	62%	30%	3%	2%	3%	92%	A
	部活動をがんばっている。	66%	21%	3%	5%	5%	87%	A
	学校生活は楽しい。	47%	35%	7%	5%	6%	82%	A
	自分には、よいところがあると思う。	18%	36%	21%	7%	18%	54%	D
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	27%	37%	10%	2%	24%	64%	C
	体を動かすことやバランスのとれた食生活をするなど、自分の体力や健康に気を付けた生活をしている。	28%	32%	22%	9%	9%	60%	C



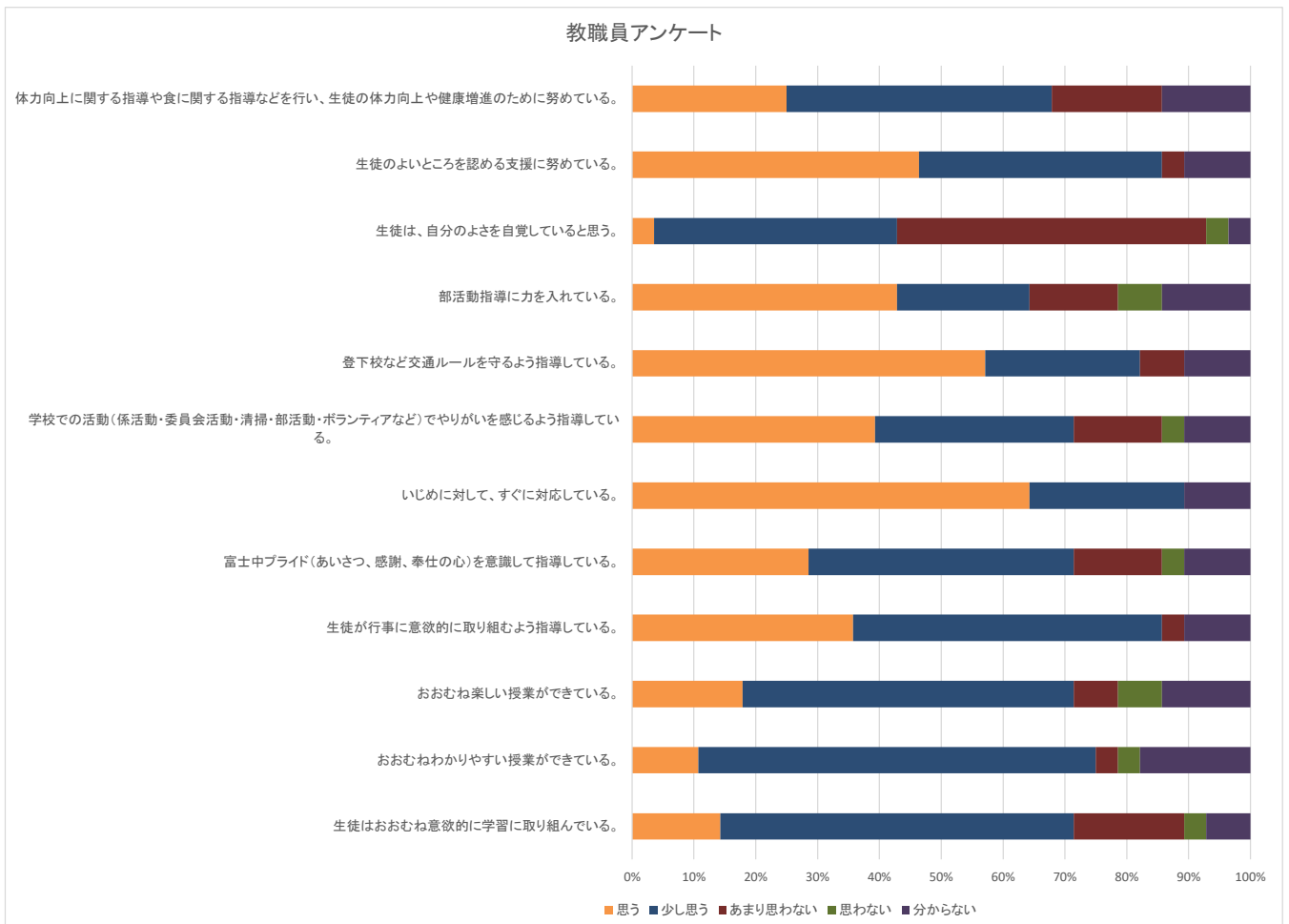
## 2 保護者アンケート

2023年度 重点努力目標	アンケート項目	思う	少し 思う	あまり 思わない	思わない	分からない	思う+ 少し思う	判定
(1) 確かな学力を 身に付ける	お子さんは意欲的に授業に取り組んでいる。	38%	28%	14%	6%	14%	66%	C
	学校では、おおむねわかりやすい授業が行われている。	20%	42%	11%	2%	25%	62%	C
	学校では、おおむね楽しい授業が行われている。	19%	42%	13%	3%	23%	61%	C
(2) 豊かな心を育む	お子さんは学校行事に意欲的に参加している。	51%	34%	8%	4%	3%	85%	A
	お子さんは、富士中プライド(あいさつ、感謝、奉仕の心)を心がけて生活できている。	29%	41%	16%	4%	10%	70%	B
	学校では、いじめに対して的確な対応がされている。	15%	23%	9%	3%	50%	38%	D
	学校での活動(係活動・委員会活動・清掃・部活動・ボランティアなど)でやりがいを感じているものがある。	47%	33%	9%	3%	9%	80%	B
(3) 命を尊重する 体力向上を図る	学校では、登下校など交通ルールを守る指導がされている。	34%	37%	10%	4%	15%	71%	B
	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	65%	20%	6%	6%	3%	85%	A
	お子さんは、自分のよさを自覚していると思う。	21%	49%	15%	5%	9%	70%	B
	先生は、お子さんのよいところを認めてくれると思う。	42%	36%	8%	3%	11%	78%	B
	お子さんは、体を動かすことやバランスのとれた食生活をするなど、自分の体力や健康に気を付けた生活をしていると思う。	28%	37%	24%	8%	3%	65%	C



### 3 教職員アンケート

2023年度 重点努力目標	アンケート項目	思う	少し 思う	あまり 思わない	思わない	分からない	思う+ 少し思う	判定
(1) 確かな学力を 身に付ける	生徒はおおむね意欲的に学習に取り組んでいる。	14%	57%	18%	4%	7%	71%	B
	おおむねわかりやすい授業ができています。	11%	64%	4%	4%	18%	75%	B
	おおむね楽しい授業ができています。	18%	54%	7%	7%	14%	71%	B
(2) 豊かな心を育む	生徒が行事に意欲的に取り組むよう指導している。	36%	50%	4%	0%	11%	86%	A
	富士中プライド(あいさつ、感謝、奉仕の心)を意識して指導している。	29%	43%	14%	4%	11%	71%	B
	いじめに対して、すぐに対応している。	64%	25%	0%	0%	11%	89%	A
	学校での活動(係活動・委員会活動・清掃・部活動・ボランティアなど)でやりがいを感じるよう指導している。	39%	32%	14%	4%	11%	71%	B
(3) 命を尊重する 体力向上を図る	登下校など交通ルールを守るよう指導している。	57%	25%	7%	0%	11%	82%	A
	部活動指導に力を入れている。	43%	21%	14%	7%	14%	64%	C
	生徒は、自分のよさを自覚していると思う。	4%	39%	50%	4%	4%	43%	D
	生徒のよいところを認める支援に努めている。	46%	39%	4%	0%	11%	86%	A
	体力向上に関する指導や食に関する指導などを行い、生徒の体力向上や健康増進のために努めている。	25%	43%	18%	0%	14%	68%	B



#### IV 学校評価のまとめと今後の努力事項

##### 1 確かな学力を身に付ける

授業が楽しいかという質問では、生徒の回答が69%に低下した。タブレット端末を活用したり、小グループで話し合ったりする授業展開の工夫で、生徒の活動を増やすことを心がけている。しかし、学習規律や学習スタイルが今ひとつ定着しておらず、授業内容が分かった、活動が楽しかったと感じさせられていないのではないかと思われる。保護者の回答はさらに低く、61%となっている。授業公開など、直接授業を見ていただく機会が少なく、教師が工夫して授業に取り組んでいることが十分に伝わっていないためではないかと思われる。今年度も、授業公開の機会を増やすことは難しく、HP や学校だよりでも、うまく紹介できなかった。次年度は、教職員の個々の授業力向上はもちろんだが、本校生徒の最適な学びにつながる学習スタイルを工夫するなど、全職員をあげて授業改革に通り組んでいきたい。

##### 2 豊かな心を育む

「富士中プライドを心がけて生活できている」という質問に対して、生徒のプラス回答は74%、保護者は70%となった。生徒の回答が、68%から74%に向上している。教職員が「富士中プライド」を掲げ率先垂範してきた成果であると考えている。今後も、継続していきたい。いじめの対応に関して、生徒たちはいじめがなく安心(84%)と回答している。しかし、保護者は38%と昨年とほぼ同様の結果となった。教職員の回答も、いじめに即対応しているかの問いに「分からない」との回答が11%見られた。これは、SNSでのトラブルなど複雑な問題が増え、対応が難しくなっていることの表れであると考えている。もちろん、発覚した段階で即対応することは、あたり前に行わなければならない。その上で、アフターケアをしっかりと、生徒、保護者の安心につながるよう努力し続けたい。学校行事への取組や、やりがいを感じられる学校生活の面などは、これまで同様、肯定的な評価が多いので、次年度も同様に活動を計画していこうと考えている。

##### 3 命を尊重する、体力向上を図る

命を尊重することや体力向上を図ることに関する質問事項に対して、生徒の回答は「学校生活は楽しい」(82%)と感じているものの「自分にはよいところがある」(54%)、「先生はあなたのことを認めてくれていると思う」(64%)と低い値となっている。自己肯定感や自己有用感が低くなっていることが分かる。保護者の回答は、それぞれ85%、70%と生徒の回答よりは高い値である。教職員の回答は、生徒が自分のよさを自覚しているとの回答が43%であり、生徒の自信のなさに気付いていることが分かる。そして、生徒のよいところを認める支援について、86%がしっかり行っていると回答している。しかし、生徒の回答は64%にとどまり、認められることが少ないと感じている生徒がいることが分かる。保護者の回答は78%と生徒よりは高い値である。今後は、タイミングよく生徒に伝わりやすい言葉で声かけるようにするなど、支援のあり方を工夫していきたい。今年度も、夏季のカウンセリング研修会などの機会を増やし、継続して研鑽を積む必要があると考えている。

「体を動かすことやバランスのとれた食生活をするなど自分の体力や健康に気を付けた生活

をしている」という問いに対して、生徒も保護者もプラス回答が少なかった。(60%、65%)これは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各種大会、練習試合も制限が緩和されたとはいえ、生徒や保護者が思い描くような活動が確保できていないからだと考えられる。実際、生徒の活動への意欲は向上し、「部活動がんばっている」と回答した生徒は87%で、昨年度(75%)よりも高くなっている。しかし、感染症罹患者の増加に伴う活動停止などもあり、思うように活動できなかったことも影響していると思われる。顧問が実施できる限られた時間の中で、生徒たちを精一杯活動させようと色々工夫している。部活動のあり方に対する議論が行われている中ではあるが、できるだけ対応をしていきたいと考えている。本校の大きな課題に「交通マナーの向上」がある。約80%の生徒が自転車通学をしている本校では、とりわけ自転車の並進の禁止、歩行者への配慮などが求められており、今年度も地域からもしばしば交通マナーについてご指摘をいただいているのが実状である。「交通ルールを守って登下校している」と回答した生徒は92%いる。地域からのご指摘のことも考えると、それと意識せずに交通マナーに反している状況が予想される。そのため、交通安全に対する生徒の意識をよりいっそう高める必要がある。今年度は、下校時の教職員と交通安全委員会の生徒による交通安全の呼びかけを行った。これは、生徒からの発信であり、これまでの呼びかけが生徒に少しずつ定着している成果だと考えられる。今後も、継続的に指導して、より強く生徒の意識に定着させ、安全を守っていききたいと考えている。